

飛鳥之卷
全

和装本

ヶ5

44

133





大坪本流飛鳥之卷

抑馬ハ足次ノ乗懸專也如仰様ノ馬成共少シモ侮
 ル事ナク足次ヲ早ク乗ヘカラス如仰ニモノ静ニ
 乗出スヘシ足次ノ始メハ躍也手綱ヲ下テ手動
 カス様ニ取前敷ヘ懸リ鞞立ニテ目着ハ馬ノ
 心過行ハ近ク不足ニ遠ク手心得
 運足ノ事躍足ニ少シ入ルト思ハハ揃足ニ
 懸リ拍子ニ成ヘシ場ヲ誥懸々次第



終ニ拍子ニ入ヘシ躍足ヲ誥スシテ 拍子ニ入テ
 ハ必ス愚ク成ヘシ然共初ヨリ 拍子
 ニ成馬モ有揃足トハ躍誥リテ色付リ云々
 ○ 小拍子ノ馬ハ早メレハ必ス後ハ小嵐ニ
 成物也此小嵐ハ鞍立ヲ如何ニモツ口
 ト口趣ヲ和カニ引合テ前懸リニ乘馬
 ニ引セヘシ馬ニヨリ前輪ヲ押ヘテ
 キカヌハ後輪ヲ教衆ヘシ目着右同前也

○ 拍子ノ馬調子ノ馬ヲ世上ニテ一様ニ云々大キ
 成誤リ也先拍子ノ馬ト云ハ手細ヲ請鞍鐙
 ヲ請テ歩ムヲ云也此衆様ハ鞍ヲスカ
 スヘカラス馬ノ心ニ隨テ鞍可直也亦調
 子ノ馬ト云ハ拍子ニモ調子有嵐ニモ調子
 有也鞍ノ真草行口ノ拍子鐙ノ品ニモカ
 カハラス如何様ノ衆人ニテモ調子遠
 ハス場ヲ進シテ行ヲ調子ノ馬ト云也

○ 嵐ノ馬ノ走大流中嵐其馬ノ位ヲ覺ヘテ拘
ヘ来ヘシ鞍ハ何レモ前懸リテ可也心過タル
ニ鞍拘ヘ請ル様ニ手心得但馬ニヨルヘシ強
馬ニハ鞍ヲ挫ニ成程浮立心可也惣而
嵐ニ相引在夕カレ物也後々無之様
ニ可啣亦鞍堅クシテ前足キカヌ馬リハ鞍ヲ
撥ルヘシ

○ 雜足有馬ハ嵐成ルヘシ一ツ雜ニ歩ミ

後ニ雜ニ成リ凡サニ宛雜ル也過物ハ鈴
響ノカケ合出サス入レスニテ馬ヨリ雜ヲ
セ拍子合ヲ請テ馬次第ニ可乗將心不足ハ
乘人ヨリ手細鈴トモニ誘ヒ鞍當リヲ
仕懸乗也目着ノ遠近馬ニヨルヘシ
同雜ノ鞍手細ノ走先馬ノ持タル足ヲ
乗行ハム時蹴合鞍ヲサシ宛撥リ居木ニ移
リ替々手細ヲシメ免之漣波ヲ掛鈴ヲ踏

○ 晉テ後輪ニ懸リ足次解カスル也駟飛ノ馬ニモ吉
 駟飛ノ馬ハ拍子ノ馬ニ有物也村ヲツキ
 替ル足ヨリ一ツ宛駟飛亦間一ツ宛拍子ニ
 可成此象様ハ駟飛所ハ立スカシ拍子
 付所ニテハ鞍ヲ静メテ可象此外
 種々心得左揺引ニテ拍子ヲ取隅
 ノ口ニ成ト拍子計ヲ象心得肝要也
 翔足之事

○ 凡翔足ハ母馬ニ殿^殿テ追往足ハ一參足
 也心一筋ニシテ勢強シ是ヲ生得ノ足
 ト云也象様ハ先隅ニテ輪ヲ二ツニ
 ツ玉輪ト懸馬ヲ場へ押禦ト前輪
 ニ少シ懸リ拘ヘテ目着ハ耳間ヨリ
 崎ヲ見ヘシ腰ヨリ下ハ成^程裡強ク手
 綱ノ間ハ馬ニ依ヘシ手綱エトリ有モ詰
 リタルモ悪シ是モ馬ニ依也拳左右同

意^臂脊後へ出久へカラス身ニ付タレモ
難^雜し過タルモ悪之見能シテ氣能ヲ
專一トス叔鞍ヲ突立躍々ト走ラセ
テ懸へシ懸ラレテ馬々場ヲ見入時
鞭角ヲ合スへシテ下ヨリ疎ニ
出シテハ留口悪敷物也能々可心得
同居ル時ハ立透タレ腰ヲ居反テ鐙ヲ
踏出シテ細リ相強身ニテ拍へ響テ落

之寢ケ颯々ト繪^會叙ヲシテ可留手延縮
可也亦三拍子ニ居ル夏第一ノ秘事也前
足上レ所ヲ引也後足地ニ着時引ハ前
足是所引レテ物也人引馬ヲ是ニテ
可留也手細引ト鞍ヲ敷ト鐙ヲ踏ト是
三拍子ナリ叔引返シテハ本ノ位ニ歸リ
能々馬ヲ靜メ繪^會叙ヲシテ拘へ可氣
同翔足序破急之夏

○ 序ノ地道ノ内ヨリ猫足ニ移ニ次第ニ場ノ詰
ル様ニ翔ル也

○ 破トハ地道ヲ少シ早メテ馳ニ移テ其
終ニ翔ヲ去也

○ 急トハ馳ヲ一返歩セニ返メニ其足ニテ
翔出スヲ云也

右猫足ノ馬ニハ鐙ヲ場中ニテ三ツ破ノ
馬ニハ中一町ノ内ニテ湍ノ拍子ヲセツ

蹴懸ヘシ急ノ足ノ馬ニハ跑翔ル也大夏ノ馬
ナラハ翔乗ヘカラス一暮乗テ一場ヲ翔ヘシ

○ 序ノ馬ハ流シ留或ハ折留也 口傳

○ 破ノ馬ハ切留或ハ突留拘留也 口傳

○ 急ノ馬ハ大事也一三々拍子ニテ留ヘシ此

留様一代ニ一度ヨリ外乗ヘカラス

○ 切ル々馬ヲ翔ルニハ切ル々方ノ手綱ヲ

押下テ強ク拵同切ナル方ノ手綱ハ

強ク尻キ切ル々方ノ居本ヨリ追出へし
 馬馬場ヲ見入テ直ニ翔ハ声角ヲ合へし
 勢々猫足ノ内ニ角ヲ不_レ當勿論鞭ヲ
 用ハ切ル々方ヲ可_レ也
 同留口ハ切ル々方へ馬ノ氣ヲ外シテ
 拘留ヨリ折留ニ移シテ可留也口傳
 肩ヲ出ス馬ヲ翔ルニハ^縦緞ハ左へ出ス
 肩十ヲラハ其肩ヲ輪ノ内ニテ前入テ

鐘ニテ勢ヲ持セ其終場へ押禦ト引刺テ
 緞ニテ馬ノ氣ヲカ工シ草ノ鞍ヨリ強ク
 追出スへし声角鞭切レ馬同前
 同留口ハ拘留廻シ留リ用へし口傳
 〇 斥場ノ馬ノ翔ルニハ馬場心得專一也^縦緞ハ
 左へ斥添馬十ヲハ其方ヲ裏ニシテ
 可翔也支ニテモ添ハ大釣瓶手緞ニテ
 然リ掛同ク添方ノ居本ヨリ強ク追

出スヘシ声角石同前鞭ハ平首ノ鞭其方
キ也

同留口ハ強口ヲ引拍ヘテ可留也

○痿馬ヲ翔ルニハ輪ノ内ニテ櫻将鞭ヲキ

其俣場へ押禦ケ諸手細ヲ強ク取奇

平首ヲ拳ニテ突立草ノ鞭ヨリ追出スヘ

シ描尾ノ内ヨリ声ヲ懸馬々場ヲ見入ト

角ヲ合スヘシ勿論鞭ハ後ノ鞭ヲキテ

乱ル々鞭ニ移シテ手翔也

○同留口ハ切留吉亦拘流ニ留ヲモ手用也

○立馬ヲ翔ルニハ先馬場心得ヲ專トス輪

ヲ玉輪ト仕掛其勢ヲ用急ノ馳ニ移シ

手細ハ下用ニ掛テ少シ指寵ケ前ノ鞭

○ヲ突立追出スヘシ声ヲ始ニシ角ヲ後

ニスヘシ鞭ハ霞ノ鞭ヨリ乱ル々鞭ニ移

スヘシ

同留口ハ流シ留ヲ可トス亦拘ヘテ肌守
手細ニテ可留也

○ 踏馬ヲ翔ルニハ弱ク強ク玉輪ト任掛其俟馬
場へ押禦ト手細ニテ強ク引上草ノ鞅ヨリ
居反テ突立追出スヘシ声角立馬同前然レ
鏡ハ強ク蹴切テ角間ヲ遠ク可翔也鞅ハ後ノ
鞭ヲキテ乱ル々鞭ニ移シテ可也

同留口ハ草ノ鞅ヲ強ク居敷テ上口ヲ拘ヘ身

漆手細ニテ可留也

○ 込馬ヲ翔ルニハ先翔ケト思フ前ノ馳ニ勢ヲ持セ
引廻スト草ノ鞅ヲ強ク突立手細ニ純合ヲ懸テ
声ヨリ追出スヘシ声角ヲ制シテ鞭ヲ用後ノ鞭ヨリ
乱ル々鞭ヲキテ可翔也
同留口ハ切留可也示急ノ馳ニ移シテ可留也
粘口ノ馬翔ルニ輪ノ内ニテ口ニツモニツモ強當リ
其俟場へ押禦追出スヘシ声鞭角口傳

同留口ハ摩留可也拘ヘテ折留ヲモ用

○ 痛口ノ馬ヲ翔ルハ口ヲ割テ取ト純合鞞ヨリ追

出スヘシモリ始ニシテ鞭角ヲ合スヘシ

同留口ハ流シ留ノ氣味也割タル口ヲサラクト

寵ケ鞞トモニ流シテ留ヘシテ難ク用テ難ク

○ 弱口ノ馬ヲ翔ルハ輪ノ内ニテ口ヲ割蹴懸

テハ免シ馬ニ勢ヲ付其終場へ押御常ノ如

ク平翔也

○ 同留口ハ切留亦ハ流シ留可也

○ 強口ノ馬ヲ翔ルハ弱口ニ懸テ追出シ弱口ニテ

○ 留之或ハ強口ヨリ追出シテ強口ニテ留ル馬モ有也

○ 翔ヲ出スニ馳ニ移ル馬ヲ翔ルハ輪ノ内ニテ下口ニ

○ 響ヲ持セ拍子ヲハスニ前ニテ躍ル様ニ仕掛其

○ 後場ニ押御草ノ鞞ト手綱ヲ引合苞鞭

○ ヨリ可追出也留口常ノ如シ

○ 結口ニテ翔サル馬ハ割口ヲ可翔也

○ 割_レテ翔_ル馬ハ結_レテ可_ク翔_ル也

○ 口ニ當_リテ翔_ル馬ハ免_レテ可_ク翔_ル也

○ 免_レテ翔_ル馬ハ當_リテ可_ク翔_ル也

○ 口ニテ翔_ル馬ハ鞅_ニテ可_ク翔_ル也

○ 鞅_ニテ翔_ル馬ハ鐙_ニテ可_ク翔_ル也

○ 鐙_ニテ翔_ル馬ハ鞭_ニテ可_ク翔_ル也

○ 口_ニ鞅_ニ鐙_ニテ翔_ル馬ハ勢_ニテ可_ク翔_ル也

○ 勢_ニテ翔_ル馬ハ教_テ可_ク翔_ル也

○ 小場_ニテ翔_ル時ハ輪_ル内_ニテ馬_ニ勢_ヲ付_テ可_ク也

○ 緞_ハ三拾間ノ馬場ヲ翔_ルニハ六拾間ヲ翔_通ス

○ 勢_ニテ輪_ノ内ヨリ急_ニ追_出スヘシ手_ニ鞅_弱クシ

テ翔_ル事ナシ

○ 長場_ニテ翔_ル時ハ三百間ノ場ナラハ中_ニ百間ヲ

可_ク翔_ル也武藏野ヲ小庭ニ衆ト云_習是_也

○ 翔_ル内_ニテ鐙_踏外_シタル時ハ跟_ニテ切_付ヲ扣

テ可_ク翔_ル也

- 翔ノ祕事ハ強口ニ有留口ノ 祕事ハ弱口ニ有也
- 色之事 口傳
- 鞭之事 口傳
- 無角之事 口傳
- 母馬之傳之事
- 勢之事 口傳
- 息合之卷
- 大凡生在者ハ息ヲ以テ專トス生死ハ二ツヲ顯セ

- リ呂律ノ息是之律ハ甲ノ音出ル也吸息トシ
- テ生ノ息也引息死ノ息也是ヲ呂ノ息トシテハ
- 音出ル之是以テ阿呼ノ二字ヲ顯セリ綴令ハ
- 龍ノ吟スル色ヲ云ニ始モナク終モナク鎮成安
- 樂息トセリ 然ルニ馬ト号スル者ハ息合ヲ
- 肝要トス其上人乘ニコツテ根息詰リ早ク死
- ス去レハ病出來或ハ曲馬ト成或ハ成ニ違人
- ヲ引亦村ヲ出ス事ヲ息間違フ故也能々息

ハ調子ヲ聞改ムル夏專也

○息間リ閑事

○第一響ヲ嚙詰テ息ヲ齒ニ出サハ未タ詰ラヌト
可知高ノ息トシテ平調也

○第二唯ニ當テ息ヲ吸出サハ角ノ息トシテ
調也是詰テ又息ト可知

○第三口ヲ開テ息ヲ吸出サハ宮ノ息是ハ少シ詰
リタル心也一越調之

○第四舌ヲヘテメカシ同舌ニ當テ息ヲ吸出
サハ早ク詰リタル息ト知テ可体之微

○第五鼻ヲツキハ息ヲ入テ吸出サハ早
ク息キレハ是羽ノ息トシテ盤涉調之

○此息ナラハ針ヲ指テ菜ヲ飼テ馬ヲ休
ムヘシ口傳

○大息ナレテハ馬忽ニ死スル也

○ 小息トハ常ニキルニ息也死スル迄ナシ
口傳

○ 溜息ト云事上々ノ馬ニ溜息七息中
ノ馬ニ五息下ノ馬ニ三息也口傳

○ 諸息ノ度昔一息ニ三息ハ不苦一息ニ五
息ハキレハ是羽ノ息間也能々聞テ中
体ノ

○ 諸息ト云度内外ハ違ヒテク吸可云

○ 斤息ト云度外ハハカリ早クタリモ十

クニテ吸之諸リ息之諸息ヨリ斤息ハ

カクハ時置之溜息吸スヘシ口傳

○ 上中下ノ馬ニヨリテ幾息馬ト云度ヲ

知ル口傳

○ 馬ノ調子昔調子ト云度馬ノ調子トハ

一調子ノ内ニ餘ノ調子ナシ人ハ一調子ノ
内ニ五調子有リ依之物ヲ云ニ息ノ

絶ル麦アルヘカラス也傳綴ハ一日ニ二百里
三百里ヲ翔走共息間能々勤ヘ休メ衆
テハ息絶ル麦有ヘカラス亦一譴ノ内ニ
モ息違フ麦モ可左ニ能々可衆覺者之

○調子之次第

○陰ノ調子 陽ノ調子

○地ノ調子 顯ノ調子

○日當ノ調子 延ノ調子

○短ノ調子 違ノ調子

○諸調子 下調子 上調子

○我調子 下ル調子 上ル調子

○馬ニヨリテ陰ノ調子ヨリ地ノ調子ヘ移

リ地ノ調子ヨリ上ツ下ツスル麦際限

有ヘカラス強キ馬ヲ譴ル麦譴庭ノ内

ノ調子ノ移リ所要可秘

○馬之調子ヲ知ル麦

- 青毛草毛 木性双調
 - 栗毛雲雀毛 火性黄鐘調
 - 廩毛糴毛 土性一越調
 - 鴉毛何原毛 金性平調
 - 黒毛鯨毛 水性盤涉調
- 右五調子之能々閉合テ可衆調子息開達
 子ハ馬可餘之
- 依毛知方支

北方ハ馬出スハカ
 北方ハ出セハ餘之

- 己牛 青毛
- 鹿毛
- 鴉毛
- 黒毛
- 草毛
- 雲雀毛
- 糴毛
- 何原毛
- 鯨毛

北方ハ出スハ三
 日ニヨリテ替ルハ

當流宗師

日本武尊

迎來流

貞純親王

鹿嶋流

八幡太郎 義家

六條判官 為義

湯山入道中原玄性

大坪流

大坪式部太輔廣秀

村上加賀守 永幸

赤藤備前守 國忠

赤藤安藝守 好玄

赤藤備後守 忠玄

赤藤赤官頭 辰遠

丹州住僧了慶坊

大坪本流

新藤 求馬 辰光

新藤 主祐 定易

久保田宗順 弘道

新藤 主實 和正

新藤 前清 國忠

村上 實成 永幸

大坪 左衛門 大輔 龜吉

大坪 前清 山入道 中原 玄佐

